

令和5年度

事業報告書

特定非営利活動法人ライツオン・チルドレン

1 事業の成果

令和5年度は、子どもに向けたプロジェクトとしては、「パソコン寄贈&講習会」を1都3県・高知県・沖縄県で実施するとともに、令和5年2月に沖縄県でスタートした「パソつか」を本格的に実施した。

「パソコン寄贈&講習会」は、1都3県で37人、高知県で16人、沖縄県で18人が参加し、対面またはオンラインの講習会で学ぶとともに1人1台のノートパソコンを受け取った。このプロジェクトは平成27年度の設立当初から続けてきたものだったが、今後予定されているWindowsの仕様変更や、デジタル技術の利用状況の変遷を踏まえて、令和5年度末をもって終了することを決定した。令和5年度の間パソコン寄贈のニーズの調査を行ったうえで、令和6年度から後継プロジェクトを実施することを決定し、その準備を進めた。

「パソつか」は、2つの児童養護施設でそれぞれ4回実施し、施設に入所する子どものべ150人が参加した。子どもたちは、リラックスした雰囲気の中で、パソコンを使ったゲーム作成（プログラミング）や動画制作を楽しんだ。「パソつか」はこれまでのパソコン関連のプロジェクト（「パソコン寄贈&講習会」や「ジョブリハ プログラミングの仕事」）とは、次の点で一線を画する：高校生や社会的養護出身者ではなく小中学生が主な参加者層となっていること、児童養護施設を当法人スタッフが訪問する形で実施していること、パソコンを寄贈するのではなく体験機会の提供に目的を絞っていること。一方で、子どもに対してスタッフが1対1について、ひとりひとりのペースに合わせて進めるという「パソコン寄贈&講習会」で培ったノウハウは引き継いでおり、丁寧な対応に努めた。年度の後半には、令和6年度に実施する施設等を決定して、その準備を進めた。

施設職員向けの取り組みとしては、令和4年度までビデオ会議で実施していた「社会的養護職員のためのITセキュリティ/リテラシー研修」を動画配信などの形で広く提供することを計画していたが、人員確保や他のプロジェクトとの両立の難しさから、断念した。

その一方で、「ITセキュリティ/リテラシー研修」の流れを汲む別の新プロジェクトの企画について社内で協議を重ね、児童養護施設における子どものスマホ利用に関するトラブルに焦点を当てた取り組みを令和6年度から実施することに決定した（ワタシ To スマホ プロジェクト）。令和5年度の間は、内容の準備、人員や財源の確保、協力して頂く児童養護施設の選定などを進めた。

企業等に向けては、引き続き使用済みデバイス（パソコン、タブレット、スマートフォン）の寄付を呼びかけるとともに、一部の都内支援企業では新しい試みとして社内チャリティバザーを実施した（GOOD DRIVE プロジェクト）。

インターネット等を通じて不特定多数に向けて発信する取り組みとしては、日本国内で児童虐待に遭っている子どもや、児童虐待を見聞きした人に向けて、英語や「やさしい日本語」で情報を提供する記

事を作成し、ウェブサイトで公開した。「社会で子育てドットコム」は引き続き休止した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 27,392 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
社会的養護の措置 児童及び自立支援 の児童に対する事業	【パソコン寄贈&講習会】 対象となる子オンライン パソコン講習(高知は対 面、他はオンライン)とパ ソコン1台を無償提供す る。	1 都 3 県:4月 から3月 まで全8 回 高知:8 月に2日 間 沖縄:8 月に4日 間	1 都 3 県:ビデ オ会議、 高知:高 知県立ふ くし交 流、沖 縄:ビデ オ会議、	8人	東京・埼 玉・千 葉・神奈 川の1都 3県と高 知、沖縄 の社会的 養護下の 高校生と 出身者	71人(1 都3県 37人、高 知16人、 沖縄18 人)	7,563千 円
	【パソコン】施設を訪問し て、子どもと一緒にプログ ラミングや動画編集など を体験する。	5月、7 月、9月 に1回ず つ	沖縄県内 の児童養 護施設2 か所	のべ35 人	当該施設 の入所児 童	のべ108 人	7,823千 円
	【ロッカーズ・ルーム】社 会的養護出身者の相談に 乗り、その他必要な支援 をする。	随時	都内	2人	社会的養 護の出身 者で、当 法人と以 前から接 点がある 人	1人	326千円
パーソナルコ ンピュータ及 び情報機器の 再資源化事業	企業等で使用済みとなっ たパソコン等の寄付を受 け、その売却益を事業費に 充てつつ、資源の再利用を 図る。	随時	希望のあ った企業 の事業所 など	4人	他の各事 業の受益 者	他の各事 業の受益 者	1,802千 円
児童福祉の浸 透と啓発を 図る事業	【社会で子育てドットコ ム】ウェブサイトを通じて 社会的養護の浸透・啓発を 行う。新規投稿は休止中。	随時(常 設ウェブ サイト	https:// shakaide kosodate .com	1人	不特定多 数	不特定	5千円

その他この法 人の目的を達 成するために 必要な事業	【社会的養護職員向け IT セキュリティ/リテラシー 研修】社会的養護職員に向 けて研修を動画配信する 計画だったが、断念した。	実施なし	実施なし	3人 (準備の み)	実施なし	実施なし	1,619千 円
	【モデルケース「ワタシ To スマホ」】児童養護施設 の入所児童のスマホ利用 におけるトラブルについ て、施設とともに考えるた めのプロジェクトを準備 した。令和6年度から実施 する予定。	実施なし	実施なし	3人 (準備の み)	実施なし	実施なし	4,112千 円
	【支援をつなげる】企業の 寄付・ボランティアなどの 資源を、社会的養護の現場 のニーズとつなげ、効果的 な支援を図る。 児童虐待啓発記事の翻訳 ボランティアや、企業での 社内バザー (GOOD DRIVE プロジェクト) など。	4月・5 月(翻訳) 及び 9月、12 月、2月 に1日ず つ(バザ ー)	企業オフ イスほか	6人	不特定多 数	不特定	4,142千 円

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)